

## 【迷惑メール対策強化に伴うメールソフト設定変更のお願い】

一般に、メールを送信する時は、25番ポートを使用してSMTPサーバーに接続し、メールを送信します。このとき、SMTPサーバーは、メールアドレス、メールパスワード等を確認せずに、メールを送信します。SPAMと呼ばれる、無作為に送信される広告メール・迷惑メールは、この仕組みを利用しており、迷惑メールは大きな社会問題となっております。

MicNetでは、段階的に対策を実施してきましたが、2008年4月1日より、25番ポートを使用したメール送信を完全遮断いたしました。

遮断後も、送信メール受付専用ポート「サブミッションポート（587番）」とIDとパスワードで認証を行う「SMTP認証（以下、SMTP AUTH）」とを組み合わせることで、メールを送信する事ができます。

「サブミッションポート」と「SMTP AUTH」を使用してメールを送信するためには、ご利用のメールソフトの設定変更が必要です。

メールソフトの設定変更をお願いいたします。

## Outbound Port25 Blocking ～25番ポートブロック～

### 【Outbound Port25 Blocking について】

近年、一方的に送信される迷惑メールの手法は、巧妙化・悪質化しています。迷惑メールは、出会い系サイト、アダルトサイト等の青少年に有害なものも多く、また、架空請求・フィッシングといった詐欺的行為、ウイルス感染の温床となっております。

そこで、MicNetでは、正常なメールの妨げとなる迷惑メール送信を根絶するためのワーキンググループJEAG（Japan Email Anti-Abuse Group）により作成されたRecommendationを基に、「Outbound Port25 Blocking（以下：OP25B）」を段階的に実施いたしました。

OP25Bを実施することにより、インターネット利用者から受信者側のメールサーバーに対し、直接配信される迷惑メールを制限することができ、当社のサービスを利用して発信される迷惑メールを大幅に減らすことが可能となります。

（参考）

【総務省】

[特定電子メール等による電子メールの送受信上の支障の防止に資する技術の研究開発及び電子メールに係る役務を提供する電気通信事業者によるその導入の状況](#)

【開始日】

2008年4月1日（火）より

【Outbound Port25 Blocking とは？】

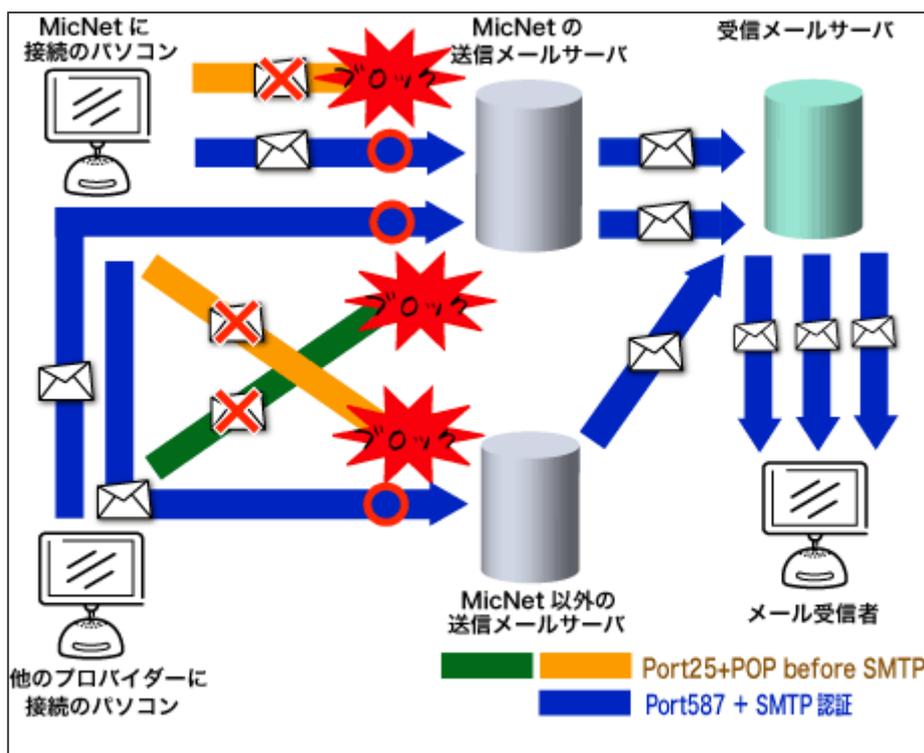
「Outbound Port25 Blocking」とは迷惑メール対策として、最近、注目されている手法の一つです。

一般に、迷惑メールの多くは、プロバイダーが用意するメールサーバーを経由せずにメールを送信しています。

そこで、プロバイダーの送信メールサーバーを経由しないで送信される迷惑メールやウィルスメールを阻止するための手法が「Outbound Port25 Blocking」です。

MicNetの送信メールサーバー以外から、25番ポートを使用したメールが送信されないようにブロックします。

●2008年4月1日より



2008年4月1日より、25番ポートを使用しているメール送信ができなくなりました。

MicNetでは、「サブミッションポート（587番）およびSMTP AUTH」の提供を開始いたしましたので、メール送信ができない場合はメールソフトの設定を変更してください。

#### 【影響を受けるお客様】

インターネット接続は MicNet をご利用されているお客様で、メール送信の際に MicNet 以外のプロバイダーの送信メールサーバーをご利用のお客様（2008 年 3 月 31 日まで）

※2008 年 4 月 1 日以降は、すべてのお客様が対象となります。

※Web メールのみをご利用のお客様は、影響ありません。

#### 対象者チェック表

こちらのフローで、お客様が影響を受けるかどうかのチェックをすることができます。

#### 【「サブミッションポート（587 番）」について】

MicNet では、「サブミッションポート（587 番）」の提供を開始いたしました。OP25B を実施している MicNet 以外のプロバイダーの接続サービスをご利用で MicNet のメールサーバーを利用してメールを送信する際は、サブミッションポート（587 番）を使用することでメール送信が可能です。

また、これに伴い、「POP before SMTP」のサービスを 2008 年 4 月 1 日にて廃止いたしました。

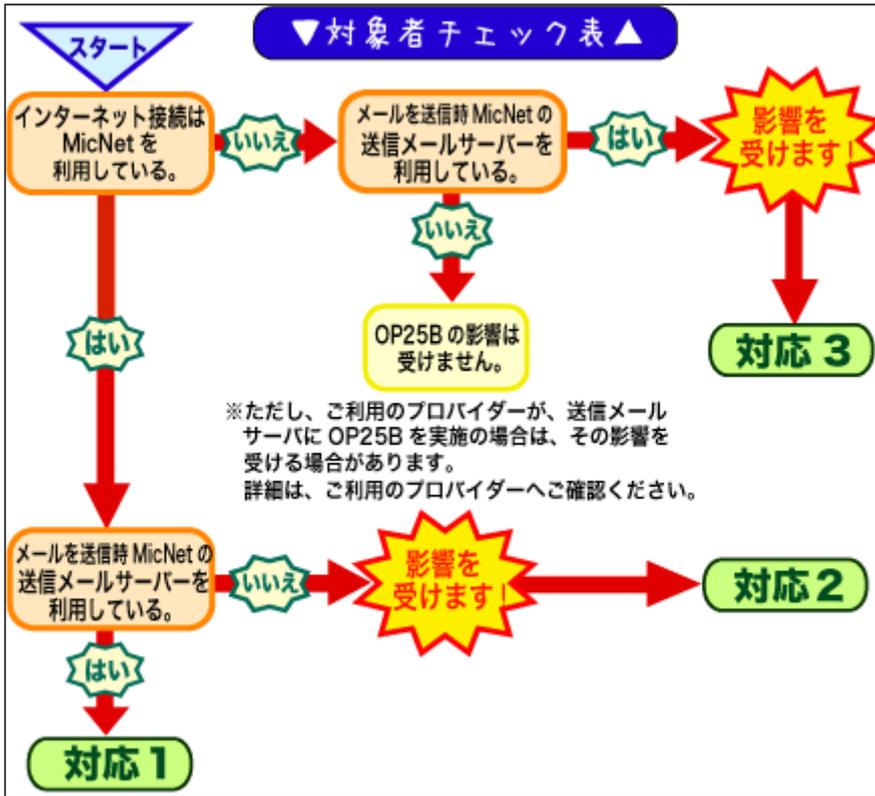
#### 【「SMTP AUTH」とは？】

SMTP AUTH とは、メール送信の認証方法の一つで、メールを送信する前に必ずメールソフトとメールサーバーがユーザーアカウントとパスワードをやり取りして認証します。SMTP サーバーの不正利用を防止する対策の一つです。

# 対象者チェック表

【Outbound Port25 Blocking で影響を受けるお客様について】

下記チェック表で、お客様が影響を受けるかどうかをチェックしてください。



【対応方法】

## 対応1

MicNet の OP25B の影響を受けるため、25 番ポートを使用してメールを送信することができなくなります。「サブミッションポート（587 番）」の提供をしておりますので、メールソフトの設定変更をお願いいたします。

## 対応2

メール送信サーバーをご利用のプロバイダーが「サブミッションポート（587番）」を提供されていない場合、メールを送信することができません。詳細は、ご利用のプロバイダーにお問い合わせください。  
また、MicNetの送信メールサーバーに変更され、メールソフトの送信メールサーバーを「サブミッションポート（587番）」と「SMTP AUTH」設定変更していただくことでメール送信が可能です。

## 対応3

メールソフトの送信メールサーバーの設定を「サブミッションポート（587番）」と「SMTP AUTH」に設定変更していただくことで、メールの送信が可能です。

### 【メールソフトの設定変更方法】

一般に、メールを送信する時は、電子メールソフトは、SMTPサーバーに接続してメールを送信します。SMTPサーバーは、メールアカウント、メールパスワード等を確認せずに、メールを送信します。SPAMと呼ばれる、無作為に送信される広告メール・迷惑メールは、この仕組みを利用しています。

「サブミッションポート」と「SMTP AUTH」の技術を導入することにより、メールサーバーの不正利用を防ぐことができます。

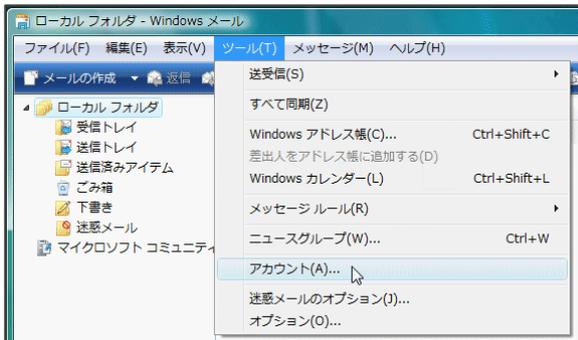
下記より、お客様がご利用のメールソフトに該当するものをクリックしてください。

Windows	Mac
<a href="#">windows メール</a>	<a href="#">Mac OS X 10.5 Mail 2.x</a>
<a href="#">outlook Express 6.0</a>	<a href="#">Mac Mail</a>
<a href="#">outlook Express 5.0</a>	<a href="#">outlook Express 5.0</a>
<a href="#">outlook 2007</a>	
<a href="#">outlook 2003</a>	
<a href="#">Netscape 7.1</a>	<a href="#">Netscape 7.1</a>
<a href="#">Thunderbird 2.X</a>	<a href="#">Thunderbird 2.X</a>
<a href="#">PostPet Ver.3</a>	<a href="#">PostPet Ver.3</a>

# Windows メール

①

メニューバーの『ツール』→『アカウント』をクリックして下さい。



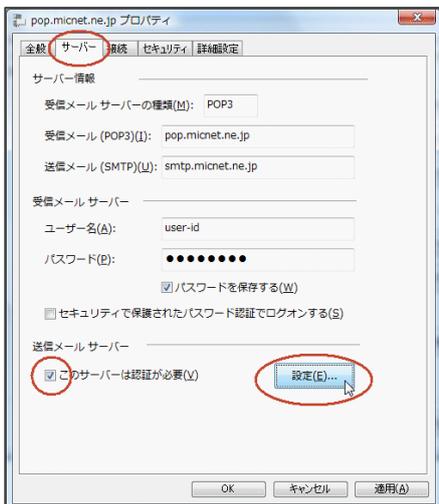
②

MicNet のアカウント名を選択して『プロパティ』をクリックしてください。



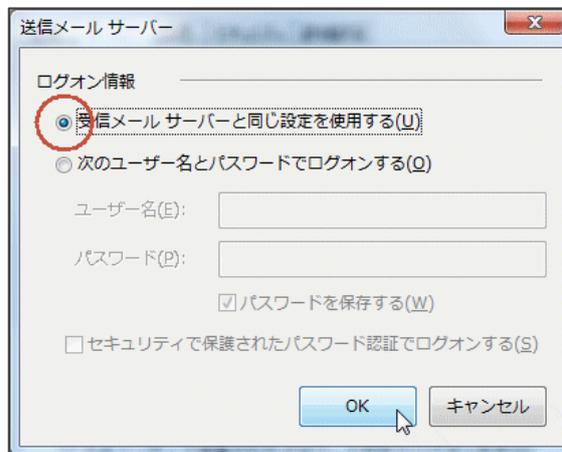
③

『サーバー』タブを選択します。  
『送信メールサーバー』の『サーバーは認証が必要』にチェックをつけ、『設定』をクリックしてください。



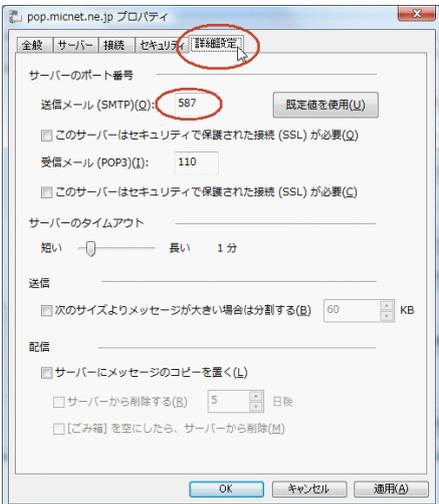
④

『詳細設定』をクリックします。



⑤

『詳細設定』タブを選択します。  
【サーバーのポート番号】送信メール (SMTP)を『587』に変更し、『適用』→『OK』をクリックします。



# Outlook Express 6.0

①

メニューバーの『ツール』→『アカウント』をクリックします。



②

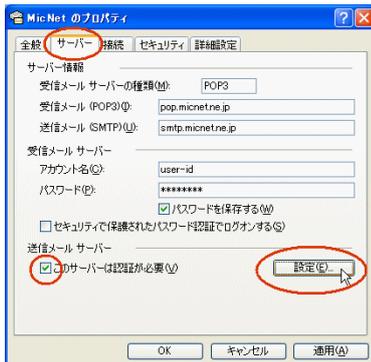
設定を確認したいメールアカウントを選択し『プロパティ』をクリックします。



③

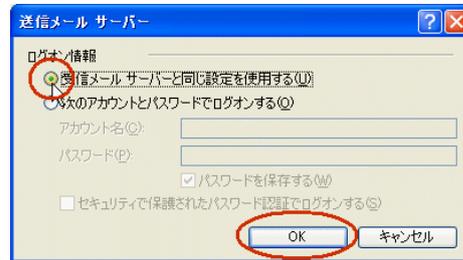
『サーバー』タブを選択します。  
『このサーバーは認証が必要』にチェックをつけ、『設定』をクリックします。

※送信メールサーバー名が「mail.micnet.ne.jp」に設定されている場合は、送信することができませんので、必ず「smtp.micnet.ne.jp」に設定変更してください。



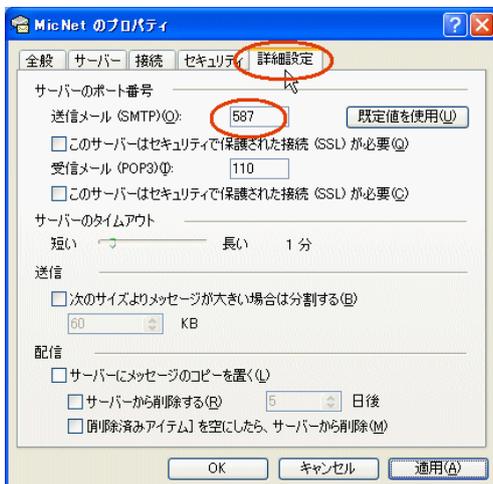
④

『受信メールサーバーと同じ設定を使用する』にチェックをつけ、『OK』をクリックします。



⑤

『詳細設定』タブを選択します。  
【サーバーのポート番号】  
送信メール(SMTP)を『587』に変更し、『適用』→『OK』をクリックします。



# Outlook Express 5.0

①

メニューバーの『ツール』→『アカウント』をクリックします。



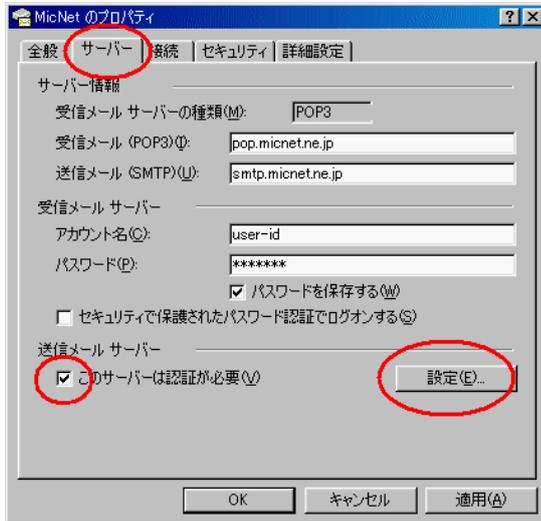
②

設定を確認したいメールアカウントを選択し『プロパティ』をクリックします。



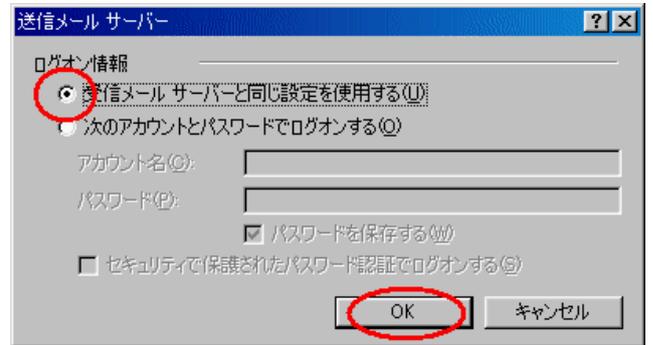
③

『サーバー』タブを選択します。  
『このサーバーは認証が必要』にチェックをつけ、『設定』をクリックします。



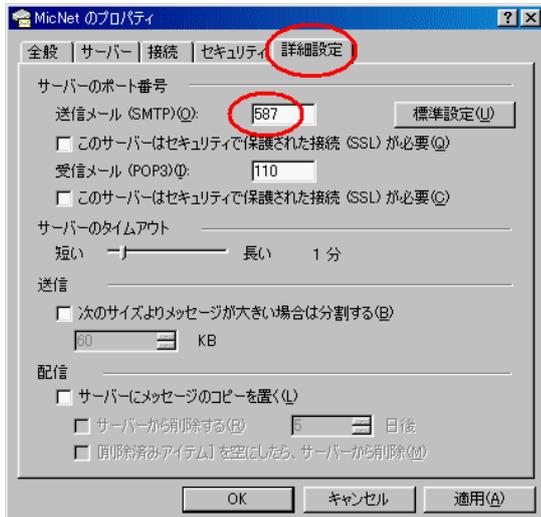
④

『受信メールサーバーと同じ設定を使用する』にチェックをつけ、『OK』をクリックします。



⑤

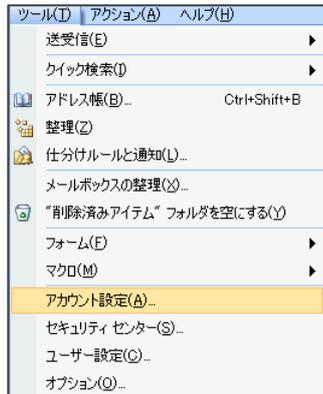
『詳細設定』タブを選択します。  
【サーバーのポート番号】  
送信メール(SMTP)を『587』に変更し、『適用』→  
『OK』をクリックします。



# Microsoft Outlook 2007

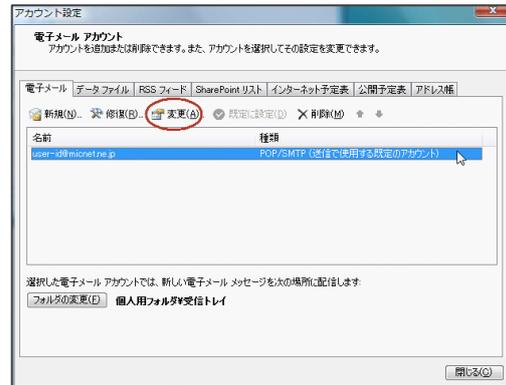
①

メニューバーの『ツール』→『アカウント』をクリックします。



②

設定を確認したいメールアカウントを選択し『変更』をクリックします。



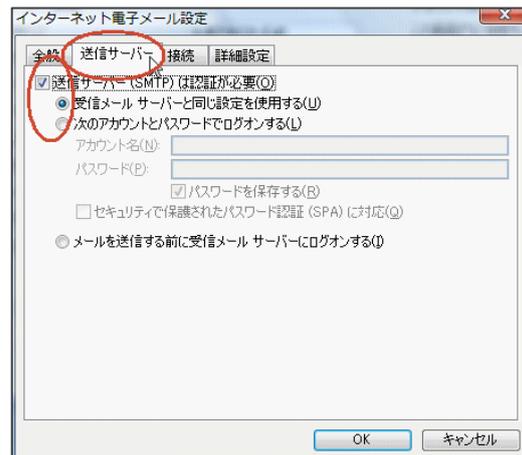
③

インターネット電子メール設定の画面で『詳細設定』をクリックします。



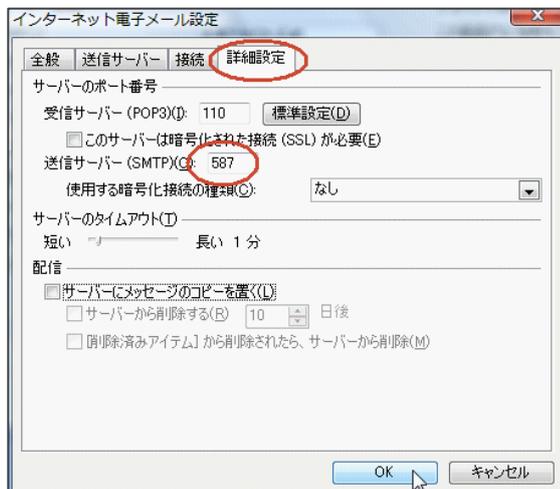
④

『送信サーバー』タブを選択します。  
『送信サーバー (SMTP) は認証が必要』にチェックをつけ、『受信メールサーバーと同じ設定を使用する』にチェックをつけ、『OK』をクリックします。



⑤

『詳細設定』タブを選択します。  
【送信サーバー】を『587』に変更し、『OK』をクリックします。



⑥

③の画面に戻りましたら『次へ』をクリックし、『完了』をクリックします。



# Microsoft Outlook 2003

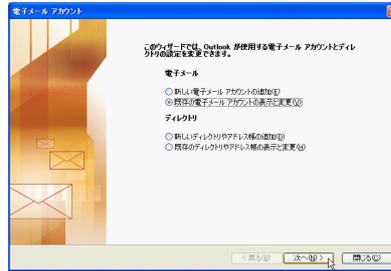
①

メニューバーの『ツール』→『電子メールアカウント』をクリックします。



②

『既存の電子メールアカウントの表示と変更』を選択し、『次へ』をクリックします。



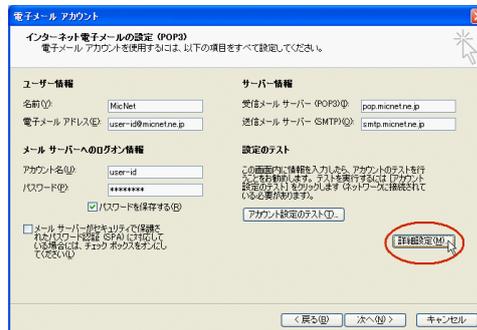
③

MicNet のアカウントを選択し、『変更』をクリックします。



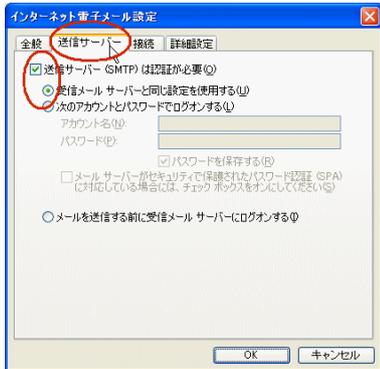
④

電子メールアカウントの画面で、『詳細設定』をクリックします。



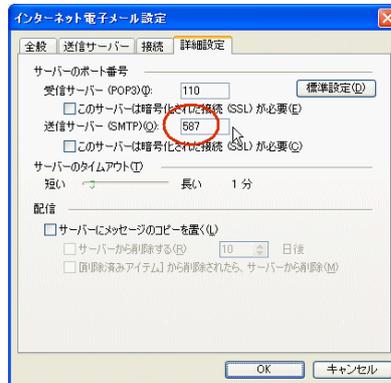
⑤

『送信サーバー』タブを選択します。  
『送信サーバー (SMTP) は認証が必要』にチェックをつけ、『受信メールサーバーと同じ設定を使用する』にチェックをつけ、『OK』をクリックします。



⑥

『詳細設定』タブを選択します。  
【サーバーのポート番号】『送信サーバー (SMTP)』の『25』を『587』に変更し、『OK』をクリックします。



⑦

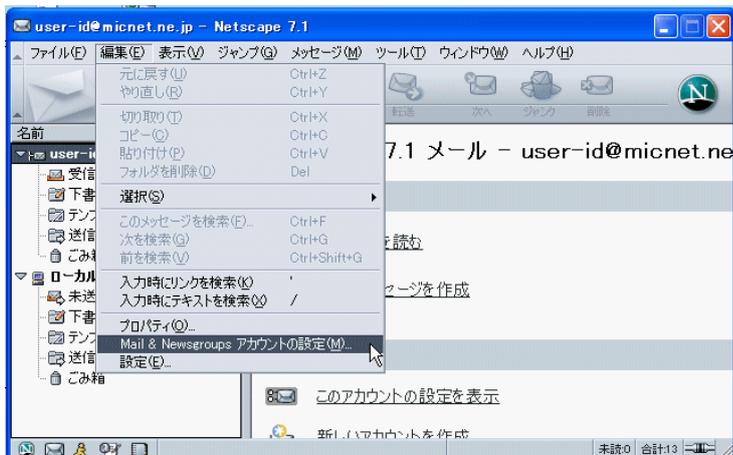
④の画面に戻りましたら『次へ』をクリックし、『完了』をクリックします。



# Netscape 7.1

①

メニューバーの『編集』→『Mail & Newsgroups アカウント設定』をクリックします。



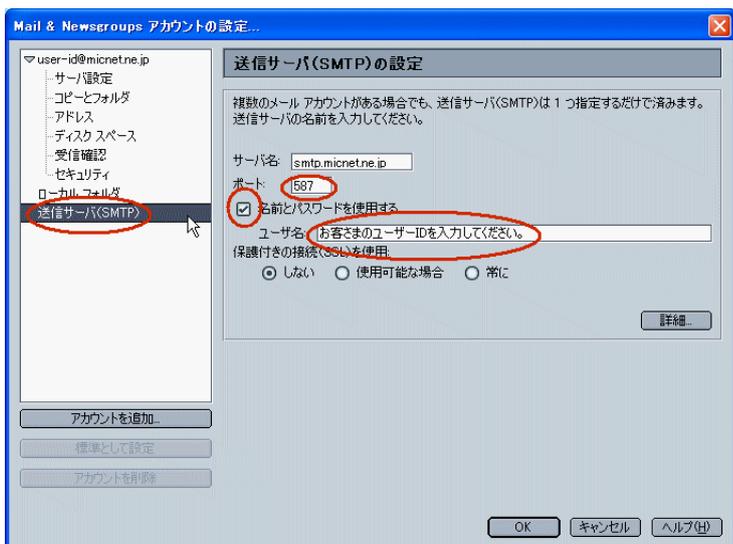
②

左側のボックスから『送信サーバー』をクリックします。

右側のボックスの『送信サーバーの設定』画面で【ポート】を『587』に変更します。

『名前とパスワードを使用する』にチェックをつけ、ユーザー名にお客さまのユーザーIDを入力してください。

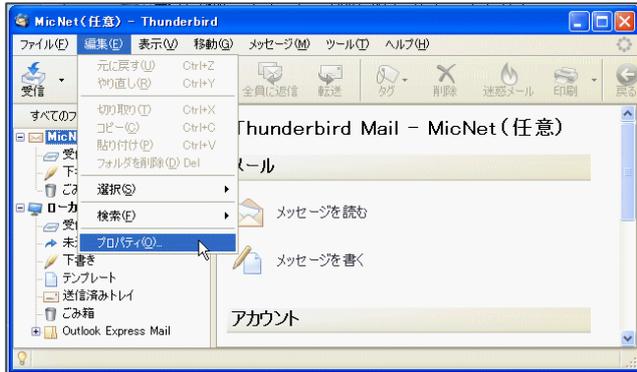
『OK』をクリックします。



# Thunderbird 2.X

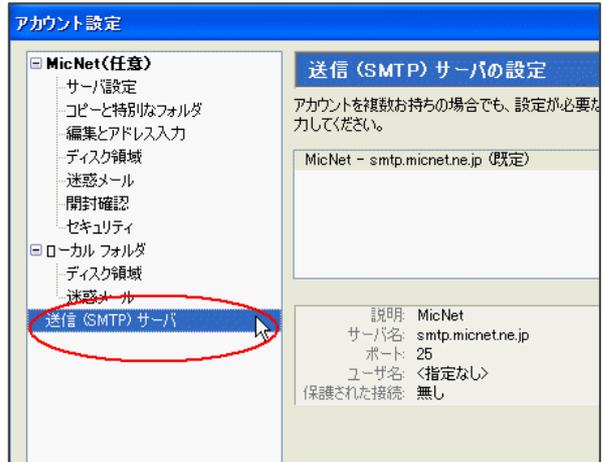
①

メニューバーの『編集』→『プロパティ』をクリックします。



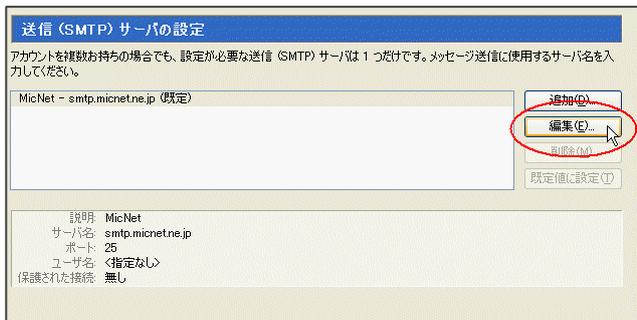
②

左側のボックスから『送信 (SMTP) サーバー』をクリックします。



③

右側のボックスから『編集』をクリックします。

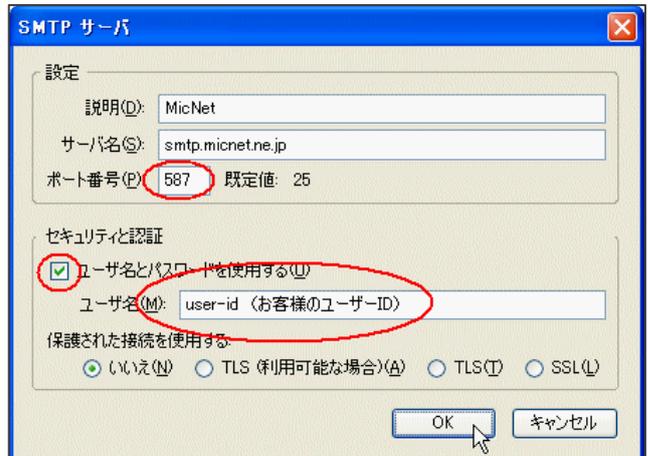


④

『SMTP サーバー』画面で【ポート番号】を『587』に変更します。

『ユーザー名とパスワードを使用する』にチェックをつけ、ユーザー名にお客様のユーザーIDを入力してください。

『OK』をクリックします。



# PostPet Ver.3

①

メニューバーの『設定』→『メール基本』をクリックします。  
環境設定画面の『基本』タブを選択し、『むずかしい設定』をクリックします。

環境設定

基本(B) 表示/作成(V) 振り分け(E) その他(O)

アカウント設定名(A) お客さまのお名前

SMTP サーバー(S): smtp.micnet.ne.jp (必須)

POP サーバー(P): pop.micnet.ne.jp (必須)

ユーザ名(U): user-id (必須)

メールアドレス(M): user-id@micnet.ne.jp (必須)

名前(N): お客さまのお名前

パスワード(P): \*\*\*\*\*

パスワードを保存する(S)

POP before SMTP(Q)

メールチェックする(H)

未読メールのみダウンロード(R)

サイン(署名)の編集(V)

ポストマン用

サーバーにあるメールを(S)

削除(推奨)(D)

残す(K)

むずかしい設定(L)

OK(O) キャンセル(C)

②

【特別な項目】『変更する』をクリックします。

むずかしい設定

特別な項目(P)

SMTP ポート番号(S): 25

POP3 ポート番号(Q): 110

変更する(H)

認証方式(R)

APOP(A)

POP3(L)

SMTP認証(SMTP AUTH)の設定(T)

SMTP認証を行う(M)

SMTPユーザ名(E):

SMTPパスワード(P):

OK(O) キャンセル(C)

③

【特別な項目】「SMTP ポート番号」を『587』に変更します。

むずかしい設定

特別な項目(P)

SMTP ポート番号(S): 587

POP3 ポート番号(Q): 110

標準値に戻す(H)

認証方式(R)

APOP(A)

POP3(L)

SMTP認証(SMTP AUTH)の設定(T)

SMTP認証を行う(M)

SMTPユーザ名(E):

SMTPパスワード(P):

OK(O) キャンセル(C)

④

【SMTP 認証 (SMTP AUTH) 設定】

「SMTP 認証 (SMTP AUTH) を行う」にチェックをつけます。

「SMTP ユーザ名」：お客さまのユーザーID

「SMTP パスワード」：お客さまのパスワード

を入力し、「OK」をクリックします。

むずかしい設定

特別な項目(P)

SMTP ポート番号(S): 587

POP3 ポート番号(Q): 110

標準値に戻す(H)

認証方式(R)

APOP(A)

POP3(L)

SMTP認証(SMTP AUTH)の設定(T)

SMTP認証を行う(M)

SMTPユーザ名(E): お客さまのユーザーID

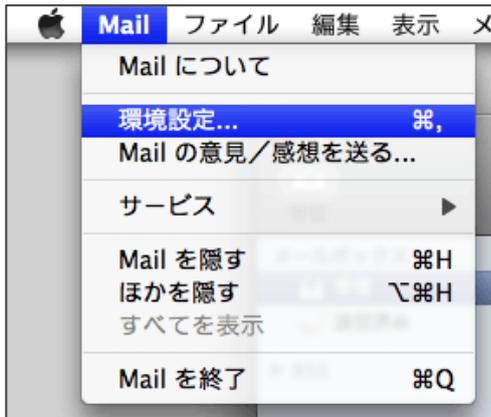
SMTPパスワード(P): \*\*\*\*\*

OK(O) キャンセル(C)

PostPet、ポストペット、PostPet ロゴは、ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社の商標です。ポストペットに関わる著作権その他一切の知的財産権は、ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社に属します。

①

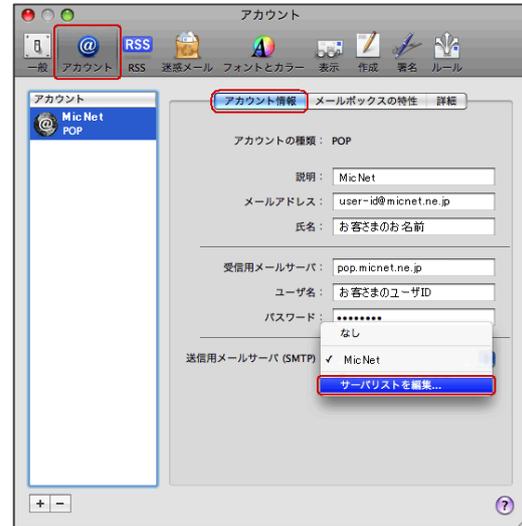
メニューバーの『Mail』→『環境設定』をクリックします。



②

『アカウント』を選択します。

『アカウント情報』タブを選択し、『送信用メールサーバー』の『サーバーリストを編集』をクリックします。



③

『送信用メールサーバー』が『smtp.micnet.ne.jp』になっているか確認し、『詳細』タブを選択します。

【サーバーのポート】：『587』に変更してください。

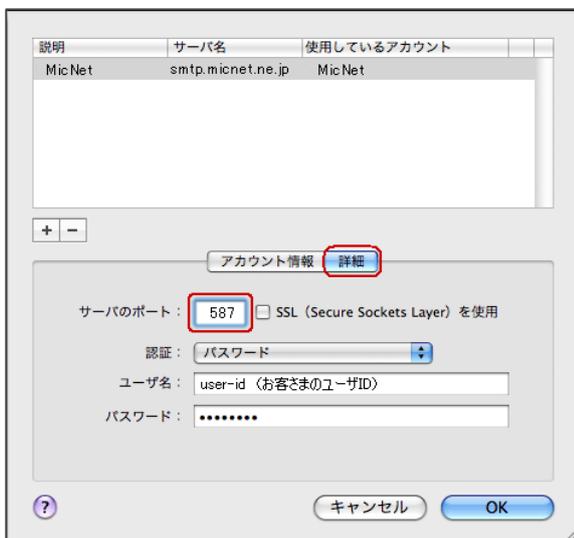
『認証』を『パスワード』に設定し、

『ユーザー名』：お客様のユーザーID

『パスワード』：お客様のパスワード

を入力します。

『OK』をクリックします。



## Mac Mail

①

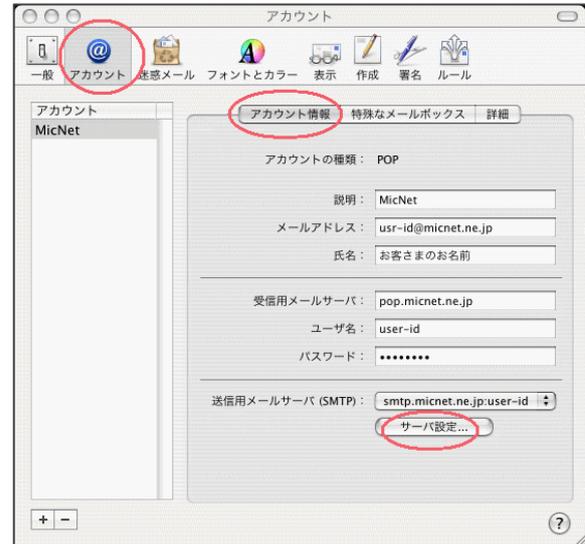
メニューバーの『Mail』→『環境設定』をクリックします。



②

『アカウント』を選択します。

『アカウント情報』タブを選択し、『送信メールサーバー』の『サーバー設定』をクリックします。



③

『送信用メールサーバー』が『smtp.micnet.ne.jp』になっているか確認し、『サーバーのポート』を『587』に変更してください。

『認証』を『パスワード』に設定し、

『ユーザー名』：お客様のユーザーID

『パスワード』：お客様のパスワード

を入力します。

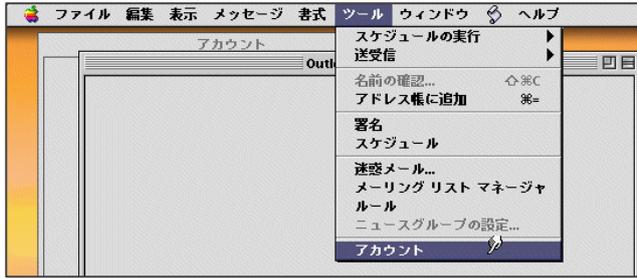
『OK』をクリックします。



# Outlook Express 5.0

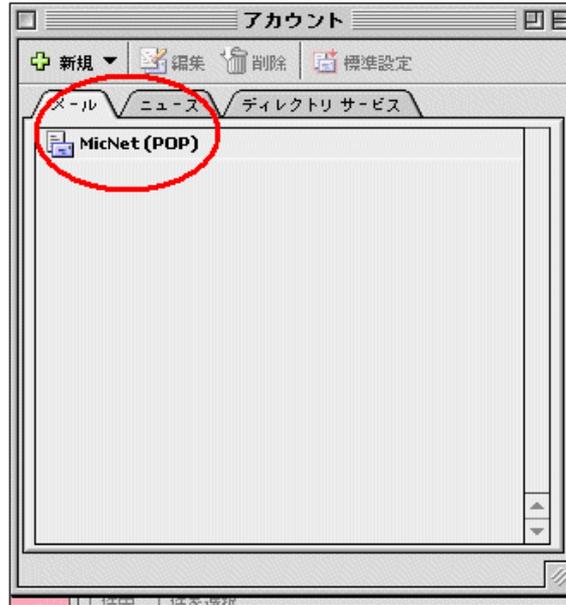
①

メニューバーの『ツール』→『アカウント』をクリックします。



②

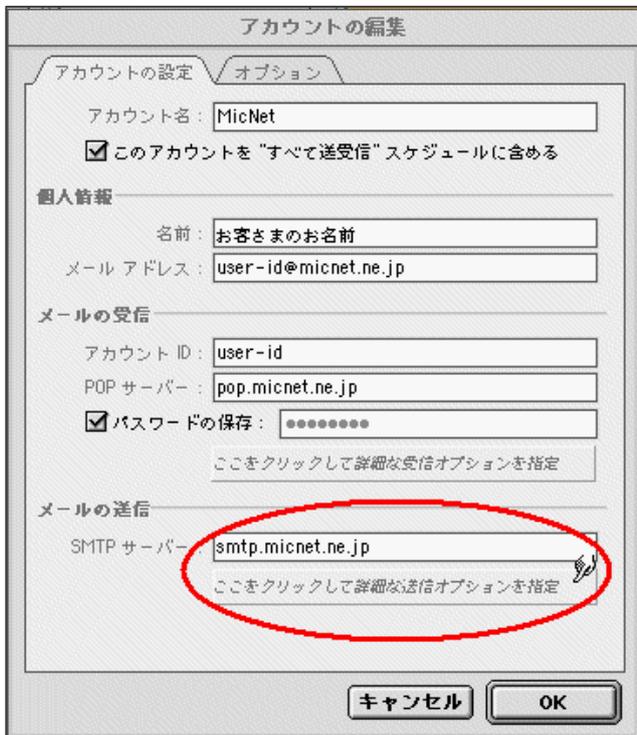
『メール』タブを選択します。  
MicNet のアカウントを選択します。



③

アカウントの編集画面で、

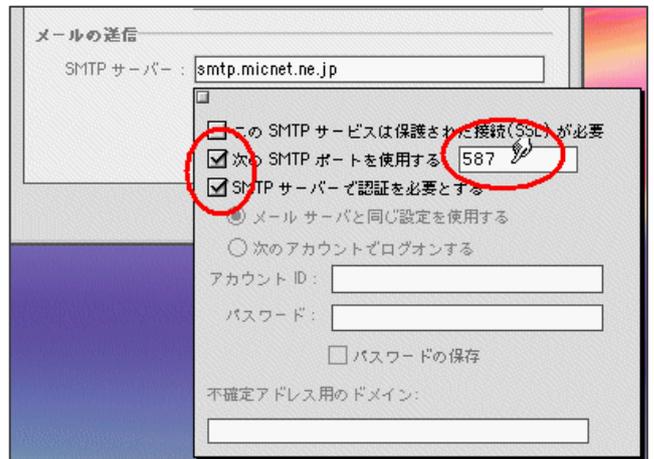
【メールの送信】：『SMTP サーバー』が『smtp.micnet.ne.jp』になっているか確認し、『ここをクリックして詳細な送信オプションを指定』をクリックします。



④

『次の送信ポートを使用する』にチェックをつけ、『587』に変更します。

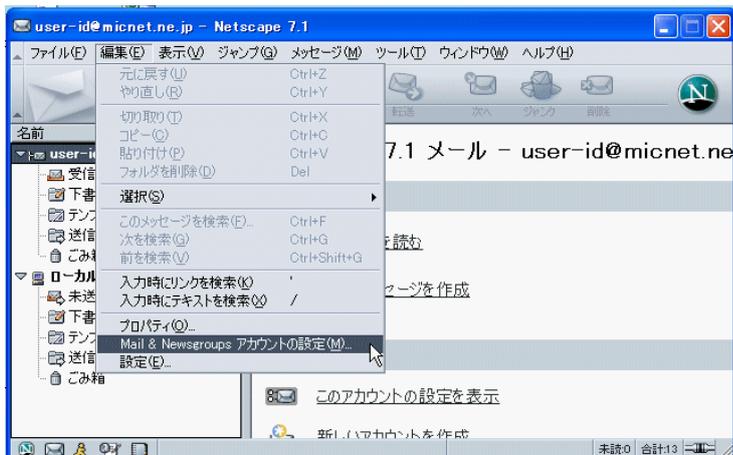
『SMTP サーバーで認証を必要とする』にチェックをつけます。



# Netscape 7.1

①

メニューバーの『編集』→『Mail & Newsgroups アカウント設定』をクリックします。



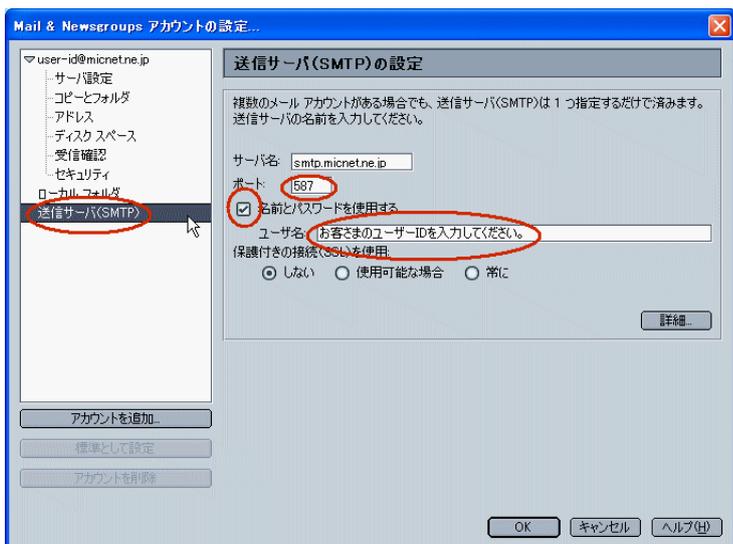
②

左側のボックスから『送信サーバー』をクリックします。

右側のボックスの『送信サーバーの設定』画面で【ポート】を『587』に変更します。

『名前とパスワードを使用する』にチェックをつけ、ユーザー名にお客さまのユーザーIDを入力してください。

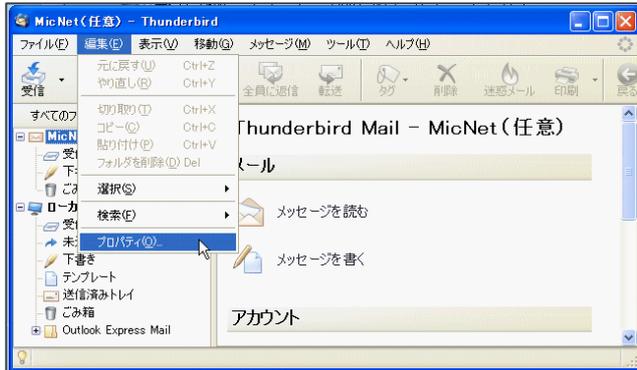
『OK』をクリックします。



# Thunderbird 2.X

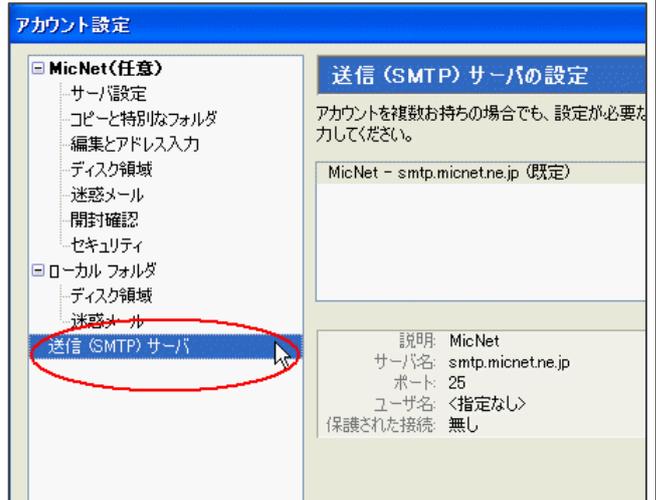
①

メニューバーの『編集』→『プロパティ』をクリックします。



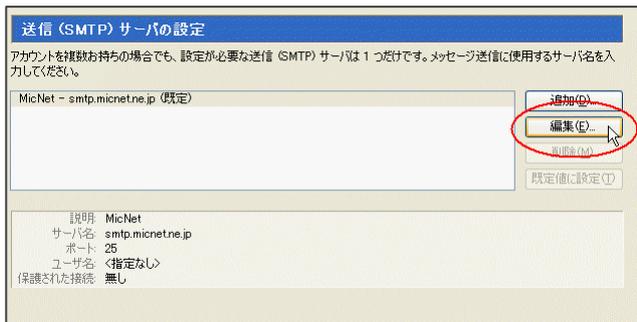
②

左側のボックスから『送信 (SMTP) サーバー』をクリックします。



③

右側のボックスから『編集』をクリックします。

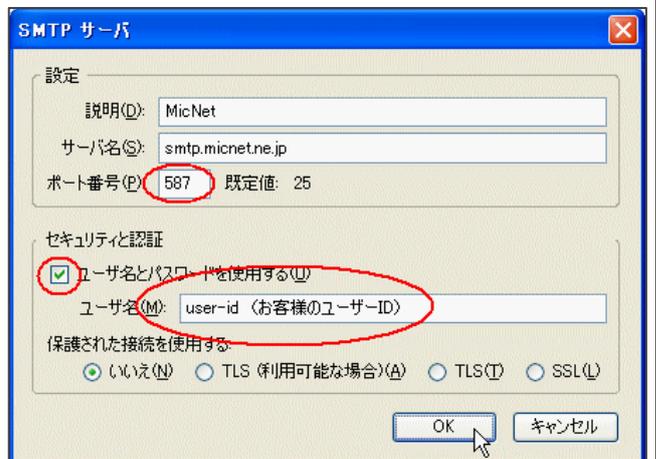


④

『SMTP サーバー』画面で【ポート番号】を『587』に変更します。

『ユーザー名とパスワードを使用する』にチェックをつけ、ユーザー名にお客様のユーザーIDを入力してください。

『OK』をクリックします。



# PostPet Ver.3

①

メニューバーの『設定』→『メール基本』をクリックします。

環境設定画面の『基本』タブを選択し、『むずかしい設定』をクリックします。

環境設定

基本(B) 表示/作成(V) 振り分け(E) その他(O)

アカウント設定名(A) お客さまのお名前

SMTP サーバー(S): smtp.micnet.ne.jp (必須)

POP サーバー(P): pop.micnet.ne.jp (必須)

ユーザ名(U): user-id (必須)

メールアドレス(M): user-id@micnet.ne.jp (必須)

名前(N): お客さまのお名前

パスワード(P): \*\*\*\*\*

パスワードを保存する(S)

POP before SMTP(Q)

メールチェックする(H)

未読メールのみダウンロード(R)

サイン(署名)の編集(Y)

ポストマン用

サーバーにあるメールを(S)

削除(推奨)(D)

残す(K)

むずかしい設定(L)

OK(O) キャンセル(C)

②

【特別な項目】『変更する』をクリックします。

むずかしい設定

特別な項目(P)

SMTP ポート番号(S): 25

POP3 ポート番号(Q): 110

変更する(H)

認証方式(R)

APOP(A)

POP3(U)

SMTP認証(SMTP AUTH)の設定(T)

SMTP認証を行う(M)

SMTPユーザ名(E):

SMTPパスワード(P):

OK(O) キャンセル(C)

③

【特別な項目】「SMTP ポート番号」を『587』に変更します。

むずかしい設定

特別な項目(P)

SMTP ポート番号(S): 587

POP3 ポート番号(Q): 110

標準値に戻す(H)

認証方式(R)

APOP(A)

POP3(U)

SMTP認証(SMTP AUTH)の設定(T)

SMTP認証を行う(M)

SMTPユーザ名(E):

SMTPパスワード(P):

OK(O) キャンセル(C)

④

【SMTP 認証 (SMTP AUTH) 設定】

「SMTP 認証 (SMTP AUTH) を行う」にチェックをつけます。

「SMTP ユーザ名」：お客さまのユーザーID

「SMTP パスワード」：お客さまのパスワード

を入力し、「OK」をクリックします。

むずかしい設定

特別な項目(P)

SMTP ポート番号(S): 587

POP3 ポート番号(Q): 110

標準値に戻す(H)

認証方式(R)

APOP(A)

POP3(U)

SMTP認証(SMTP AUTH)の設定(T)

SMTP認証を行う(M)

SMTPユーザ名(E): お客さまのユーザーID

SMTPパスワード(P): \*\*\*\*\*

OK(O) キャンセル(C)

PostPet、ポストペット、PostPet ロゴは、ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社の商標です。ポストペットに関わる著作権その他一切の知的財産権は、ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社に属します。